

令和7年度 静岡県景観セミナー（景観法活用）

令和7年6月2日 10:00~12:00
オンライン（ZOOM）

当日の進行次第

受講者 & アンケート結果

時間	内容
10:00-10:05	開会、挨拶等
10:05-10:45 (40分)	講演 景観まちづくりの推進に向けて【資料1】 国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 課長補佐 平田 晃久 質疑
10:45-11:00 (15分)	紹介 県内の景観法活用状況【資料2】 景観まちづくり課 技師 中村 隼人 質疑
11:00-11:45 (45分)	県内の事例紹介 ①御前崎市の景観計画について【資料3】 御前崎市 都市整備課 課長補佐 丸尾 貴信 ②袋井市の景観重要樹木の指定について【資料4】 袋井市 都市計画課 主事 高橋 幸汰
11:45-12:00	質疑等 事務局からのお知らせ・閉会

Q1：研修内容の理解度



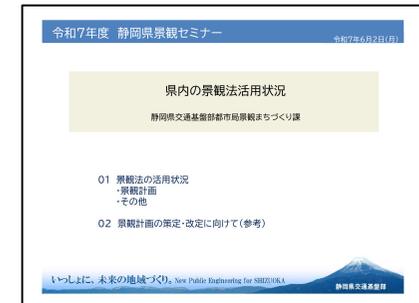
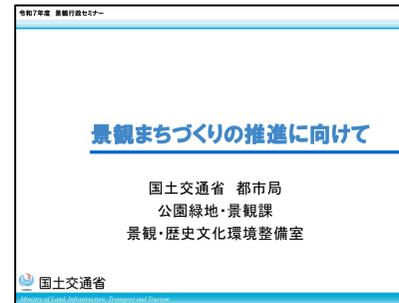
全ての人が理解

Q2：研修の参考度



全ての人が業務
の参考になると回答

【研修資料】



問い合わせ先

静岡県景観まちづくり課 担当：菅沼

TEL:054-221-3702/E-mail:keikan-machi@pref.shizuoka.lg.jp

Q4：研修の感想

研修に関する感想

- 質疑で出ていた蓄電池の設置については本市でも類似事例が見受けられるため、今後の動向を注視していきたいと考えています。
- 開発行為関連で賀茂管内は太陽光や蓄電池設置の相談が多く寄せられるが、景観悪化の要因となり得るものの規制する根拠が乏しいため、国の方針や自治体独自の対策方があるかどうかなどに注目したい。
- 蓄電池や太陽光の設置の相談が増えておりますが、明確な基準がないため本市でも相談があった際には判断に迷う部分があります。設置数や配置の仕方によっては景観に影響を及ぼすため対応については再度考えていかなければならないと思いました。
- 袋井市発表の景観重要樹木の指定の事例が参考になりました。指定前後での関係者の作業の違いや、管理体制などについて非常に参考になりました。また、本市でも昨年蓄電池の相談があり、富士宮市と同様特別な規制は無いため、相談が増えたと対応に苦慮すると思います。指針があれば今後の景観行政にとってより良いかと思いました。
- 御前崎市からの発表にもありましたが、今後景観計画を策定するに当たっては市として必要性を慎重に考えて検討していきたいと感じました。
- 事例集、特に熊本市の評価方法（視点場の定点観測やマンセル値、緑視率の変化など）は、ぜひ参考にさせていただきたいと思いました。
- 景観法に携わる仕事をするのは今年が初めてなので、大変参考になりました。富士宮市さんの蓄電池についての質問は、今後は本市でも対応する機会がありそうなので事前に担当内でも相談しておきたいと思います。

今後の研修内容等

- 実際の市でのプロセスなどが確認できたので大変良かった。
- この度、いろいろ勉強できたり様々な事例も知ることができて良かったです。今後も全県のレベルアップに協力できればと思います。今後ともよろしく願います。
- 景観に関して、一般の方々に理解を求めていくには『見える化』が必要と思われる。言葉だけの説明では、なかなか理解されないが、立体的な部分に、さらに色彩を加えることで、視覚に訴えていくと理解されやすい。十人十色であるが、言葉で説明した内容に比べ、視覚で説明した内容は、ある程度、皆が同じ認識を持てるようになる。

Q5：その他の意見

今後の研修テーマ

- 景観伐採で大きく景観が改善された事例があれば照会してほしい。(静岡県内に限らず)
- 色彩や植栽の配置、設備機器の位置等、景観形成基準の見直しが必要だと感じていますが、各市町の苦慮している部分、改定を進めている部分について事例を含めて共有して頂きたいです。
- 3Dキャド&ゲームエンジン体験講座について、市町にも展開していくことも必要では。